



矢掛町ゼロカーボンシティ宣言

本町は緑豊かな山々に囲まれ、その自然や趣のある街並み、伝統文化、歴史的遺産などに恵まれています。これらの資源は、私たちの将来の世代に引き継いでいかなければなりません。

近年、地球温暖化による気候変動の影響は、気象災害の頻発など顕著に現れており、本町でも平成30年西日本豪雨災害をはじめ、局所的豪雨等による浸水や土砂災害は住民生活に大きな影響をもたらしています。

今直面する地球温暖化の課題に対し、本町としても、再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギーの強化、森林吸収源の最大限の活用など、私たち一人ひとりが今まで以上に地球環境に大きな関心を持ち、脱炭素への取り組みを進めていかなければなりません。

この地球規模の大きな課題に対し、高い目的意識を持って地球温暖化対策に取り組むことを決意し、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロとする「ゼロカーボンシティ」に挑戦することをここに宣言します。

令和8年1月

矢掛町長 山 岡 敦